

第3章 学びに関する課題 とセグメント別特徴

1. 第2章の結果からみえた 学びに関する課題とポイント

1. 第2章の結果からみえた学びに関する課題とポイント

本調査の目的は、男女共同参画の視点から、人生を豊かにする学びに対する関心や意識の傾向を明らかにするとともに、学びを促進、継続するために求められる支援等を把握することであった。第2章の結果を踏まえると、学びに関して以下の課題が示唆された。

第2章の結果からみえた学びに関する課題

- **学びへの意欲はあるが、行動に至れない**：男女ともに、学びへの関心・意欲がある一方、過去1年以内の学習経験が限定的で「学んでいない」層が大きい（特に40代から60代女性）ため、行動につながる仕組みが課題。（P24、26）
- **学びの主たる阻害要因（費用・時間・学ぶ内容への迷い）への対応**：広義の学びについて、学んでいない理由の上位は、女性では「費用がかかる」「何を学んでいいかわからない」、男性では「仕事が忙しくて時間がない」「何を学んでいいかわからない」などである。また、仕事や職業キャリアに関する学びについて、主な障壁は、女性では「金銭的余裕がない」「学んでも収入アップにつながらない」、男性では「金銭的余裕がない」「仕事が忙しくて時間がない」などである。これらを踏まえ、費用負担の軽減、学びの時間の創出、費用をかけずに学べる内容や学習機会・場に関する情報提供、学習内容選択の迷いを解消するための選択支援の構築が課題として挙げられる。（P31、77）
- **学びに関する「情報」と「活用の場」が不足している**：男女ともに、今後の学びのために必要なこととして「情報（内容・時間・場所・費用など）」と「活用の場」が上位であった。これらの不足をどのように解消すべきかが課題。（P34）

また、課題として断定するものではないが、学びの促進・継続に資する示唆が得られたため、以下の4領域に整理した。

（1）広義の学びに対する意識からみえたポイント

- **学びの関心事は「健康」から**：男女ともに、関心が「健康」に集中している。健康を入口として他領域へ関心が広がるような“つなげ方”ができれば、学びの関心領域が拡張する可能性がある。（P23）
- **学び方の多様化**：学び方は男女ともに独学が中心で、独学は制約が少なく、気軽に取り組みやすい。一方、講座・教室等や、同好者が自主的に行っている集まり・サークル活動などの外部の学習機会の利用は、学習の効果につながる要因となっている。学び方の選択肢を増やすことで、学びの開始・継続を後押しできる可能性がある。（P27、42）
- **学びへの費用負担に対する抵抗感**：男女ともに、学びに費用をかけたくない意識が強い層には、低負担・低価格で始められる学習機会の情報提供を通じて、学びの開始を後押しできる可能性がある。（P37）
- **学びに関する配偶者の理解が得られにくい層への対応**：男女ともに、学びに対して配偶者が「積極的に支援してくれる」又は「理解がある」とする割合は半数未満。配偶者の理解を前提とせずに始められる学び（時間・費用・参加形態等のハードルが低い学習機会）があれば、学びの開始を後押しできる可能性がある。（P38）

1. 第2章の結果からみえた学びに関する課題とポイント

(2) デジタルツールに関する知識やスキルに対する意識からみえたポイント

- 「習得意向なし」層の大きさ：「身につけたいと思わない」とする層が男女とも4割前後存在する。この層に対しては、まず習得意向を喚起するきっかけづくりを行うことで、デジタルツールへの関心を高められる可能性がある。(P52)
- 生活スキル中心から仕事スキルへの橋渡し：男女ともに、保有スキルは日常生活で活用する領域が上位を占める。こうした生活スキルを起点に、仕事・生産性領域へ展開できるスキルを提示できれば、仕事・キャリアにもいかせる可能性がある。(P53)
- 習得ニーズの男女差への対応：生活スキルに続いて身につけたいスキルは、女性ではPC関連スキル、男性では生成AI活用と傾向が異なる。ニーズの違いが起きる背景を検証し、ニーズに応じた学習内容を設計し、提供することが求められる。(P54)
- 非意向理由は「理由なし／必要性なし」が中心：男女ともに、時間・費用以前に、必要性が理解・納得されていない層が一定数存在する。このため、「何ができるようになるか」等、習得によって得られる効果や活用場面を具体的に示すことが求められる。(P55)

(3) 仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識からみえたポイント

- ワーク・ライフ・バランス重視下での学び時間確保：男女ともに、仕事観として仕事と生活の両立を重視する傾向が強い。このため、短時間で完結する学習や隙間時間で取り組める学習など、生活リズムに合わせた学びの時間設計が求められる。(P58、67)
- 学ぶ局面への支援：男女ともに、会社等の指示による学びが「ない」層が一定存在する。このため、本人が学習機会を探し、選べるよう、学びに関する情報提供が求められる。(P59、83)
- 学習内容ニーズの違いへの対応：学びの内容や今後学びたい領域には男女差がみられる。ニーズの違いが起きる背景を検証し、ニーズに応じた学習内容を設計し、提供することが求められる。(P64、87)
- 学習環境（コミュニティ）の不足：「該当するものはない」が最多で、女性の割合が相対的に高い。相談先や学び合いの機会（仲間・コミュニティ等）にアクセスできていない可能性があるため、コミュニティに関する情報提供が求められる。(P69)
- 学びの目的の違いへの対応：就業状態によって学びの目的が異なる。男女ともに、有業者は「現在の仕事に必要な知識・技能の習得」が中心である一方、無業者は「今後の仕事への準備」「再就職に向けた準備」を目的とする傾向がみられる。このため、目的に応じた学習機会に関する情報提供が求められる。(P74)
- 学びの障壁への対応：費用・時間・情報が学びの障壁として挙げられ、今後の学びに必要なこと（収入アップへの接続、支援、学びに関する情報）とも整合する。低負担で学べる機会を見つけやすくする情報提供が求められる。(P68、77、83)
- 仕事・キャリア満足度が低い層を踏まえたキャリア形成支援：男女ともに、仕事や働き方、職業キャリアの満足度が低い層が一定数みられる。また、学びの障壁や今後の学びに必要なことも明らかになっている。これらを踏まえ、学びを通じたキャリア形成を支える学習環境の整備が求められる。(P77、83、86)

1. 第2章の結果からみえた学びに関する課題とポイント

(4) 役割や居場所に対する意識からみえたポイント

- **学び未経験層の支援の必要性**：学びの経験がない層では、役割・居場所感が相対的に低い傾向がみられる。特に若年層ほどその傾向が強く、男性20代が顕著である。また、役割・居場所感の男女差が大きい年代は60代で、学びの経験がある層及び学びの経験がない層ともに、男性60代は女性に比べて低い。なお、同好者が自主的に行っている集まり・サークル活動などの外部の学習機会の利用は役割・居場所感につながる可能性がある。このため、学びの機会が必要な層に届くよう、学び未経験者が参加しやすい入口（参加ハードルの低減）の設計が求められる。（P93、94）

第2章の結果から、学びに対する意欲は相当程度確認される一方で、学習経験は限定的であり、意欲と行動の間にギャップがみられることが明らかになった。また、学習経験者では学びの効果を主観的に実感している割合が高く、役割意識や居場所感といった生きがいに関連する指標も相対的に高い傾向がみられた。これらを踏まえると、施策上の着眼点は「意欲をいかに行動に移すか」にある。

さらに、学びの経験がない層で役割意識や居場所感が低い傾向にあることから、学びの機会への参加を後押しすることが、役割意識や居場所感の向上に資する可能性が示唆される。

ここまで、学びの実践に向けた課題を全体傾向及び性年代別の視点から俯瞰してきた。これらの視点は、施策の大きな方向性を定める基礎情報として有用である一方、より具体的な支援策を検討するためには、学びの実践に至っていない層の内実を掘り下げる分析が不可欠である。

次頁以降では、「学びへの意欲があるが学べていない層」に焦点を当て、その属性や意識、課題認識を分析する。なお、分析にあたっては性別による差異にも着目する。

2. 学びへの意欲と学びの経験による セグメント別の属性の特徴

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

本分析の概要

(1) 本分析の目的

本章では、「学びへの意欲があるが学べていない層」に着目し、男女別の属性及び学びに対する関心・意識の傾向を把握する。あわせて、意欲を実践につなげている「学びへの意欲があり学べている層」と比較し、両者における属性及び学びに対する関心・意識の差異を整理する。

なお、「学びへの意欲があるが学べていない層」「学びへの意欲があり学べている層」については、以下のセグメント定義に基づき分類し、分析を行う。

(2) セグメントの定義

学びへの意欲（Q22）と学びの経験（Q23）を用い、2つの項目を掛け合わせることで、回答者を4区分に分類した。定義は以下のとおりである。

学びへの意欲（Q22）

※選択肢：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」「分からない」

学びへの意欲あり：Q22の6項目のいずれかで、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を選択

学びへの意欲なし：Q22の6項目のいずれかで、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を選択
ただし、全ての項目で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」は選択していない

学びの経験（Q23）

※選択肢：「過去1年以内に学んだ」「過去1年以内には学んでいないが5年以内に学んだ」「過去5年間で学んでいない」

学びの経験あり：Q23の6項目のいずれかで、「過去1年以内に学んだ」を選択

学びの経験なし：Q23の6項目のいずれにも、「過去1年以内に学んだ」を選択していない

セグメント4区分 ※学びへの意欲（Q22）×学びの経験（Q23）

学びへの意欲あり×学びの経験あり：Ⅰ意欲があり学べている層

学びへの意欲あり×学びの経験なし：Ⅱ意欲があるが学べていない層

学びへの意欲なし×学びの経験あり：Ⅲ意欲はないが学べている層

学びへの意欲なし×学びの経験なし：Ⅳ意欲がなく学んでいない層

全体のサンプル数には、Q22の6項目全てに「分からない」と回答したサンプル（女性：685S、男性：820S）を含む。なお、当該サンプルは学びへの意欲の有無が判別できないため、セグメント（Ⅰ～Ⅳ）の分析対象外とした。各セグメントのサンプル数及び構成比は下表のとおりである。

		女性 (n=9,453)		男性 (n=9,042)	
		学びへの意欲		学びへの意欲	
		あり	なし	あり	なし
学びの経験	あり	Ⅰ意欲があり学べている層 2,952S、31.2%	Ⅲ意欲はないが学べている層 194S、2.1%	Ⅰ意欲があり学べている層 3,052S、33.8%	Ⅲ意欲はないが学べている層 229S、2.5%
	なし	Ⅱ意欲があるが学べていない層 4,058S、42.9%	Ⅳ意欲がなく学んでいない層 2,249S、23.8%	Ⅱ意欲があるが学べていない層 3,382S、37.4%	Ⅳ意欲がなく学んでいない層 2,379S、26.3%

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

(3) 「Ⅱ意欲があるが学べていない層」となる回答条件 (Q22×Q23)

前項のセグメント定義を、設問 (Q22・Q23) の回答と対応づけて示す。どのような回答が「Ⅱ 意欲があるが学べていない層」に該当するかを、以下に整理する。

Q 22		【全員】				
MtrxSA	<p>あなたは、次のようなことを学びたいと思いますか。</p> <p>本を読む、自分で勉強する、インターネットで検索する、詳しい人に話を聞く、講座を受講するなど、学ぶ方法は問いません。</p> <p>(それぞれ、当てはまるものを1つ選択)</p>					
		1	2	3	4	5
	→横に回答	1	2	3	4	5
		1	2	3	4	5
i.	仕事や職業キャリア (転職・セカンドキャリア等を含む) に関すること	○	○	○	○	○
ii.	家庭や日常生活 (家事・育児・介護等) に関すること	○	○	○	○	○
iii.	文化・教養 (語学・芸術・歴史等) に関すること	○	○	○	○	○
iv.	地域活動や社会貢献活動 (地域の清掃活動、自治会活動、ボランティア等) に関すること	○	○	○	○	○
v.	健康に関すること	○	○	○	○	○
vi.	その他	○	○	○	○	○

①赤枠内に1つ以上回答があれば、「学びへの意欲あり」

②青枠内に1つ以上回答があり、赤枠内に回答がなければ、「学びへの意欲なし」

6項目全て灰色枠内に回答した場合は、意欲不明のため、分析対象外

Q 23		【全員】		
MtrxSA	<p>あなたは、次のようなことを過去5年間で学びましたか。期間内に1日 (1回) 以上学んだ場合は、「学んだ」とお答えください。</p> <p>本を読む、自分で勉強する、インターネットで検索する、詳しい人に話を聞く、講座を受講するなど、学ぶ方法は問いません。</p> <p>(それぞれ、当てはまるものを1つ選択)</p>			
		1	2	3
	→横に回答	1	2	3
		1	2	3
i.	仕事や職業キャリア (転職・セカンドキャリア等を含む) に関すること	○	○	○
ii.	家庭や日常生活 (家事・育児・介護等) に関すること	○	○	○
iii.	文化・教養 (語学・芸術・歴史等) に関すること	○	○	○
iv.	地域活動や社会貢献活動 (地域の清掃活動、自治会活動、ボランティア等) に関すること	○	○	○
v.	健康に関すること	○	○	○
vi.	その他	○	○	○

①赤枠内に1つ以上回答があれば、「学びの経験あり」

②6項目全て青枠内に回答があれば、「学びの経験なし」

Q22で①に該当し、かつQ23で②に該当する場合、「Ⅱ意欲があるが学べていない層」と判定する。

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

本分析のまとめ

II 意欲があるが学べていない層の特徴（男女比較）

これまでの分析結果を踏まえ、「II 意欲があるが学べていない層」のグループとしての特性（傾向）を、男女別に整理した。あわせて、男女の共通点・相違点を示すとともに、当該層において、割合が高い属性・生活スタイル・意識の特徴を以下に示す。

1) 属性

当該層において、割合が高い属性の特徴は、以下のとおり。

	女性II	男性II
年代	40～60代の割合が高い。	40～60代の割合が高い。
最終学歴	非大卒の割合が8割。	非大卒の割合が6割。
配偶者の有無	有配偶率は6割弱。	有配偶率は6割弱。
同居の子供の有無	19歳以上の子供と同居が2割。 同居の子供はいないが6割。	19歳以上の子供と同居が2割。 同居の子供はいないが6割。
就業状態・雇用形態	正規雇用、非正規雇用、無業がそれぞれ3割。	正規雇用の割合が7割。

2) 生活スタイル（Q8、Q9、Q12）

共通点：自由時間、趣味・自己啓発・勉強・自分のために使う時間は、男女で大きな差はみられない（自由時間：平均約6時間半、趣味・自己啓発・勉強・自分のために使う時間：平均約2時間）※Q8。
仕事以外で参加している取組・活動は少ない※Q12。

相違点：女性IIは男性IIに比べ、収入を伴う仕事時間が短く（平均5時間2分）、家事・育児・介護時間が長い（平均2時間59分）。
男性IIは女性IIに比べ、収入を伴う仕事時間が長く（平均7時間30分）、家事・育児・介護時間が短い（平均1時間）※Q8。
配偶者との家事分担割合は女性IIが高い（女性II平均81.2%、男性II 25.2%）※Q9。
女性IIは男性IIに比べ、仕事以外で参加している取組・活動が「特にない」が高い※Q12。

3) 学びに関する意識・障壁・今後の学びに必要なこと（Q27、Q28、Q44、Q46）

共通点：学びに対して「なるべくお金をかけたくない」が上位（女性II 62.1%、男性II 51.1%）※Q28。
今後学ぶために必要なことでは、「学びに関する情報」「経済的支援」が上位※Q27。

相違点：学びの障壁で、女性IIは男性IIに比べ「家事等が忙しくて時間がない」「何を学んでいいかわからない」、男性IIは女性IIに比べ、「仕事が忙しくて時間がない」を挙げる割合が高い※Q44。
女性IIは男性IIに比べ、今後の学びに必要なことで、「学びに関する情報」「学ぶための経済的な支援」「参加しやすい時間帯に学びの機会があること」を挙げる割合が高い※Q27、Q46。

4) 役割・居場所に対する意識（Q49、Q50）

共通点：現在・将来ともに「ある（そう思う計）」が約5割※Q49、Q50。

相違点：女性IIは男性IIに比べて、「ある（そう思う計）」が高い（現在：女性II 54.3%、男性II 47.5%、将来：女性II 52.8%、男性II 45.9%）※Q49、Q50。

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

女性の「Ⅱ意欲があるが学べていない層」の特徴（「Ⅰ意欲があり学べている層」との比較）

ここでは、女性の「Ⅱ意欲があるが学べていない層」と「Ⅰ意欲があり学べている層」を比較し、両者における属性及び学びに対する意識の違いを以下に示す。

1) 属性

女性Ⅰに比べ、女性Ⅱで割合が高い属性の特徴は、以下のとおり。

- ・年代（Q2）：40～60代の割合が高い（20代の割合は低い）。
- ・居住地（Q3）：三大都市圏の居住率が低い（女性Ⅱ 57.8%、女性Ⅰ 60.7%）。
- ・最終学歴（Q7）：非大卒の割合が高い（女性Ⅱ 79.4%、女性Ⅰ 67.4%）。
- ・配偶者の有無（Q5）：有配偶率が高い（女性Ⅱ 55.2%、女性Ⅰ 52.4%）。
- ・同居の子供（Q6）：19歳以上の子供の割合が高い（女性Ⅱ 22.3%、女性Ⅰ 17.7%）。
- ・就業状態（Q13）：正規雇用の割合が低く（女性Ⅱ 32.2%、女性Ⅰ 37.0%）、非正規雇用（女性Ⅱ 34.9%、女性Ⅰ 30.5%）及び無業（女性Ⅱ 28.5%、女性Ⅰ 25.6%）の割合が高い。

2) 生活スタイル（Q8、Q9、Q12、Q17）

女性Ⅱは女性Ⅰに比べ、趣味・自己啓発・勉強・自分のために使う時間が短く、仕事以外の取組・活動への参加が少ない傾向。

- ・生活時間：収入を伴う仕事時間、家事・育児・介護時間、家事分担割合はあまり差がない。一方、趣味・自己啓発・勉強・自分のために使う時間は女性Ⅱの方が短い（女性Ⅱ：平均1時間58分、女性Ⅰ：平均2時間20分）※Q8、Q9。
- ・仕事以外の活動：女性Ⅱは「特になし」の割合が約8割と高く、活動率は女性Ⅰより低い※Q12。
- ・働き方：多様な働き方の利用は女性Ⅰに比べて低い。内訳では時短勤務の割合が相対的に高い※Q17。

3) 学びに関する意識・障壁・今後の学びに必要なこと（Q21、Q27、Q28、Q44）

女性Ⅱは女性Ⅰに比べ、新しいことやスキル向上など積極的な「学び直し」に対する意欲は低い傾向。他方、今後の学びに必要なことで上位に挙がる項目は概ね共通。

- ・学び直しへの意欲：女性Ⅱは6～4点、3～0点の割合が高く、女性Ⅰと差がみられる※Q21。
- ・学ぶことへの意識：女性Ⅱでは「お金をかけたくない」が最も高い。一方、女性Ⅰでは「何歳になっても能力を伸ばし続けることができる」「社会の変化に対応するために学び続けることが必要」等が上位※Q28。
- ・障壁：女性Ⅰに比べ、女性Ⅱでは「何を学んでいいかわからない」「金銭的余裕がない」「周囲に学べる環境がない」が高い※Q44。
- ・今後の学びに必要なこと：女性Ⅱは「学びに関する情報」「学ぶための経済的な支援」が上位だが、女性Ⅰに比べ「学びに関する情報」及び「学んだことをいかせる場所」の割合が低い※Q27。

4) 役割・居場所に対する意識（Q49、Q50）

女性Ⅱは女性Ⅰに比べ、「役割・居場所がある（そう思う計）」の割合が低い※Q49、Q50。

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

男性の「Ⅱ意欲があるが学べていない層」の特徴（「Ⅰ意欲があり学べている層」との比較）

ここでは、男性の「Ⅱ意欲があるが学べていない層」と「Ⅰ意欲があり学べている層」を比較し、両者における属性及び学びに対する意識の違いを以下に示す。

1) 属性

男性Ⅰと比べ、男性Ⅱで割合が高い属性の特徴は、以下のとおり。

- **年代（Q2）** : 50～60代の割合が高い。男性Ⅰは20～30代の割合が相対的に高い。
- **最終学歴（Q7）** : 非大卒の割合が高い（男性Ⅱ 60.9%、男性Ⅰ 52.2%）。
- **配偶者の有無（Q5）** : 有配偶率が高い（男性Ⅱ 56.7%、男性Ⅰ 53.1%）。
- **同居の子供（Q6）** : **19歳以上の子供の割合が高い**（男性Ⅱ 20.2%、男性Ⅰ 13.8%）。

2) 生活スタイル（Q8、Q9、Q12、Q17）

男性Ⅱは男性Ⅰに比べ、趣味・自己啓発・勉強・自分のために使う時間が短く、仕事以外の取組・活動への参加が少ない傾向。

- **生活時間** : 収入を伴う仕事時間はあまり差がない。一方、家事・育児・介護の時間は男性Ⅱの方が短い（男性Ⅱ : 平均1時間0分、男性Ⅰ : 平均1時間24分）※Q8。
- **自分のために使う時間** : 趣味・自己啓発・勉強・自分のために使う時間は男性Ⅱの方が短い（男性Ⅱ : 平均2時間6分、男性Ⅰ : 平均2時間27分）※Q8。
- **仕事以外の活動** : 男性Ⅱは「特にない」の割合が高く、男性Ⅰより活動率が低い※Q12。
- **働き方** : 多様な働き方の利用は男性Ⅰに比べて低い※Q17。

3) 学びに関する意識・障壁・今後の学びに必要なこと（Q21、Q27、Q28、Q44）

男性Ⅱは男性Ⅰに比べ、新しいことやスキル向上など積極的な「学び直し」に対する意欲は低い傾向。また、学ぶことへの意識では費用面の項目が相対的に上位となる一方、学びの効果・目的に関する項目は男性Ⅰより低い。

- **学び直しへの意欲** : 10～7点（高スコア）の割合は男性Ⅱで低く、男性Ⅰとの差がみられる※Q21。
- **学ぶことへの意識** : 男性Ⅱでは「学ぶことになるとお金をかけたくない」が最も高い。一方、男性Ⅰでは「社会の変化に対応するために学び続けることが必要」「何歳になっても能力を伸ばし続けることができる」等が上位※Q28。
- **障壁** : 男性Ⅱでは「金銭的余裕がない」が男性Ⅰより高い一方、「家事・育児・介護等が忙しくて時間がない」「学びに必要な情報が入手できない」は男性Ⅰより低い※Q44。
- **今後の学びに必要なこと** : 男性Ⅱは「学びに関する情報」「学ぶための経済的な支援」が上位だが、男性Ⅰに比べ「学びに関する情報」及び「学んだことをいかせる場所」の割合が低い※Q27。

4) 役割・居場所に対する意識（Q49、Q50）

男性Ⅱは男性Ⅰに比べ、「役割・居場所がある（そう思う計）」の割合が低い※Q49、Q50。

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

本分析の詳細

属性情報

(1) 年代 (単数回答・Q2)

【対象】全員

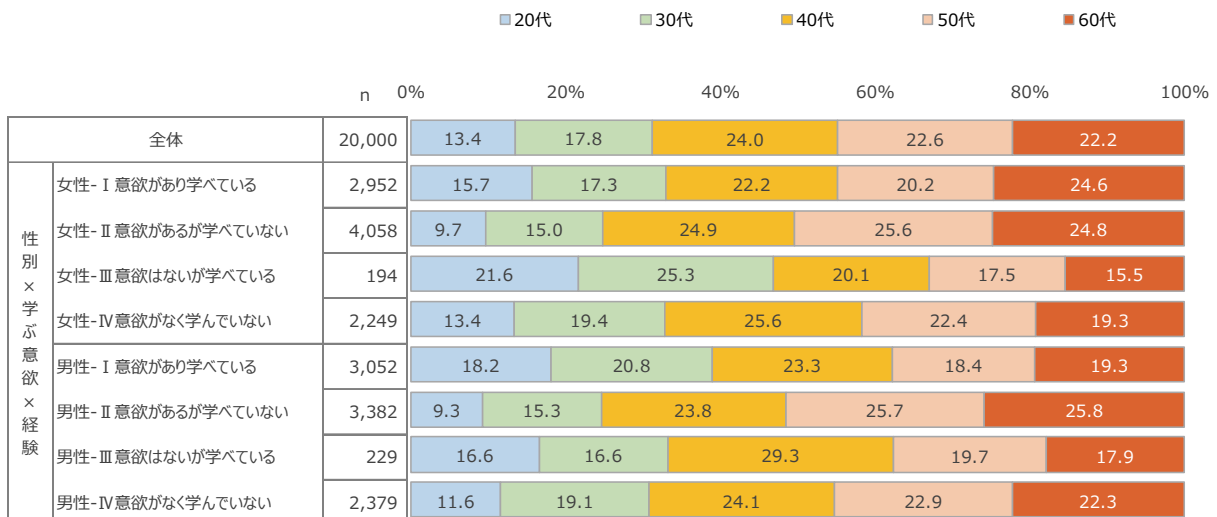
Q2.あなたの年齢を教えてください。

I 意欲があり学んでいる層と、II 意欲があるが学べていない層の比較

- ・女性- I 意欲があり学んでいる層：「60代」が24.6%、「40代」が22.2%。
- ・女性- II 意欲があるが学べていない層：「50代」が25.6%、「40代」が24.9%。
- ・男性- I 意欲があり学んでいる層：「40代」が23.3%、「30代」が20.8%。
- ・男性- II 意欲があるが学べていない層：「60代」が25.8%、「50代」が25.7%。

II 意欲があるが学べていない層の男女比較

- ・男女間で大きな差はみられない。



2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

(2) 居住地 (単数回答・Q3)

【対象】全員

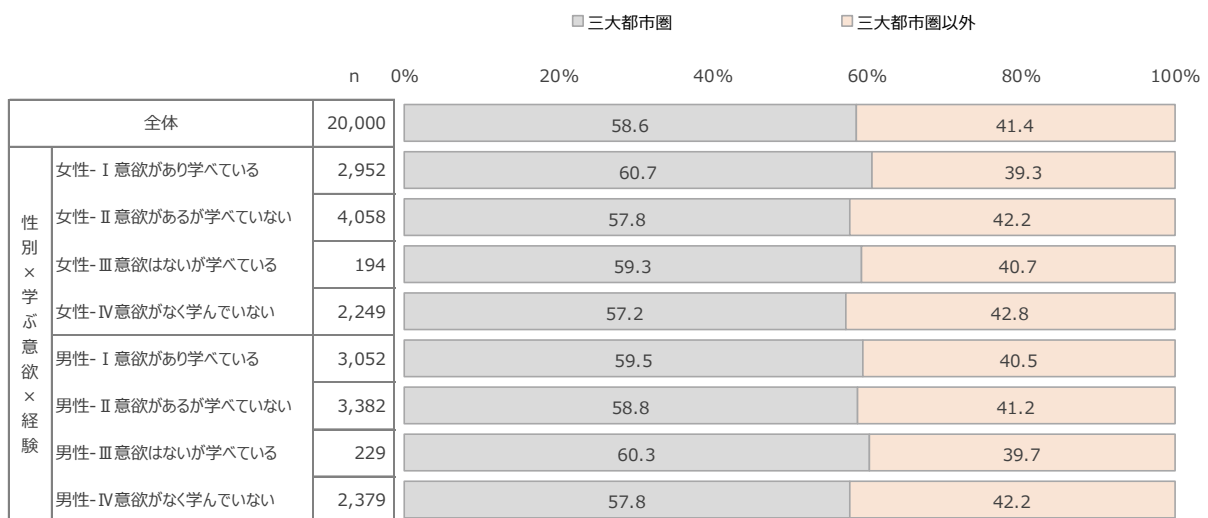
Q3. 現在のお住まいはどこですか。

I 意欲があり学んでいる層と、II 意欲があるが学べていない層の比較

- 女性- I 意欲があり学んでいる層：「三大都市圏」が60.7%、「三大都市圏以外」が39.3%。
- 女性- II 意欲があるが学べていない層：「三大都市圏」が57.8%、「三大都市圏以外」が42.2%。
- 女性の層別比較：女性- II は女性- I に比べて、「三大都市圏」が2.9%ポイント低い。
- 男性- I 意欲があり学んでいる層：「三大都市圏」が59.5%、「三大都市圏以外」40.5%。
- 男性- II 意欲があるが学べていない層：「三大都市圏」58.8%、「三大都市圏以外」41.2%。
- 男性の層別比較：男性- II と男性- I で大きな差はみられない。

II 意欲があるが学べていない層の男女比較

- 男女間で大きな差はみられない。



2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

(3) 配偶者の有無（単数回答・Q5）

【対象】全員

Q5.配偶者の有無について教えてください。

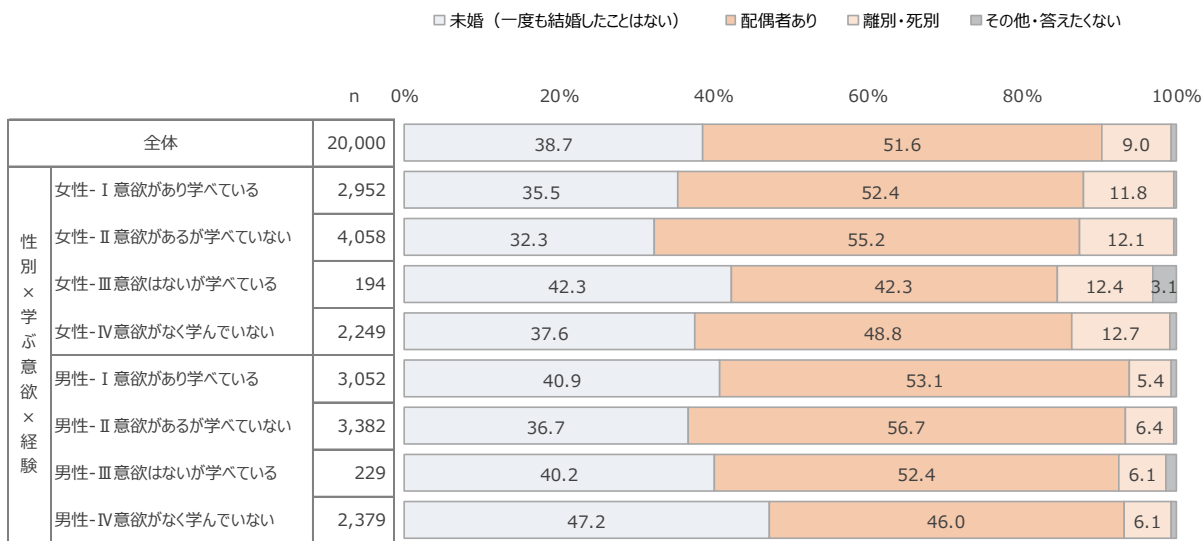
※婚姻届を出していない事実婚・内縁の関係も、「配偶者あり」に含まれます。

I 意欲があり学べている層と、II 意欲があるが学べていない層の比較

- ・ 女性- I 意欲があり学べている層：「配偶者あり」が52.4%、「未婚」が35.5%。
- ・ 女性- II 意欲があるが学べていない層：「配偶者あり」が55.2%、「未婚」が32.3%。
- ・ 女性の層別比較：IIはIに比べて、「配偶者あり」が2.8%ポイント高く、「未婚」が3.2%ポイント低い。
- ・ 男性- I 意欲があり学べている層：「配偶者あり」が53.1%、「未婚」が40.9%。
- ・ 男性- II 意欲があるが学べていない層：「配偶者あり」が56.7%、「未婚」が36.7%。
- ・ 男性の層別比較：IIはIに比べて、「配偶者あり」が3.6%ポイント高く、「未婚」が4.2%ポイント低い。

II 意欲があるが学べていない層の男女比較

- ・ 女性- II は男性- II に比べて、「離別・死別」が5.7%ポイント高い。



※3%未満は、数値表示を省略しています。

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

(4) 同居している子供の有無（複数回答・Q6）

【対象】全員

Q6.同居している子供はいますか。

※養子・里子等も含めてください。

I 意欲があり学んでいる層と、II 意欲があるが学べていない層の比較

- ・女性- I 意欲があり学んでいる層：「子供はいない」が62.9%、「19歳以上の子供がいる」が17.7%。
- ・女性- II 意欲があるが学べていない層：「子供はいない」が60.3%、「19歳以上の子供がいる」が22.3%。
- ・女性の層別比較：IIはIに比べて、「19歳以上の子供がいる」が4.6%ポイント高く、「子供はいない」が2.6%ポイント低い。
- ・男性- I 意欲があり学んでいる層：「子供はいない」が59.8%、「19歳以上の子供がいる」が13.8%。
- ・男性- II 意欲があるが学べていない層：「子供はいない」が59.8%、「19歳以上の子供がいる」が20.2%。
- ・男性の層別比較：IIはIに比べて、「19歳以上の子供がいる」が6.4%ポイント高く、「3歳未満の子供がいる」が4.3%ポイント低い。

	全 体 n= 20,000	女 性				男 性			
		I 意欲が あり 学べて いる n= 2,952	II 意欲が あるが 学べて いない n= 4,058	III 意欲は ないが 学べて いる n= 194	IV 意欲が なく 学んで いない n= 2,249	I 意欲が あり 学べて いる n= 3,052	II 意欲が あるが 学べて いない n= 3,382	III 意欲は ないが 学べて いる n= 229	IV 意欲が なく 学んで いない n= 2,379
									(%)
3歳未満の子供がいる	4.5	5.8	3.5	4.6	3.1	7.7	3.4	5.2	3.4
小学校入学前（3歳～6歳）の子供がいる	5.6	5.9	4.7	7.7	5.1	7.8	5.4	3.1	5.0
小学校低学年（1年生～3年生）の子供がいる	5.1	4.8	4.3	5.7	4.6	7.5	5.2	6.6	5.0
小学校高学年（4年生～6年生）の子供がいる	5.4	4.8	5.0	3.1	5.2	6.9	5.8	7.9	4.8
中学生～18歳の子供がいる	8.9	7.8	9.3	4.6	8.4	9.2	11.1	10.9	8.1
19歳以上の子供がいる	18.3	17.7	22.3	15.5	19.4	13.8	20.2	16.2	15.8
子供はいない	62.4	62.9	60.3	66.0	63.2	59.8	59.8	60.7	67.5

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

(5) 最終学歴 (単数回答・Q7)

【対象】全員

Q7.あなたの最終学歴を教えてください。

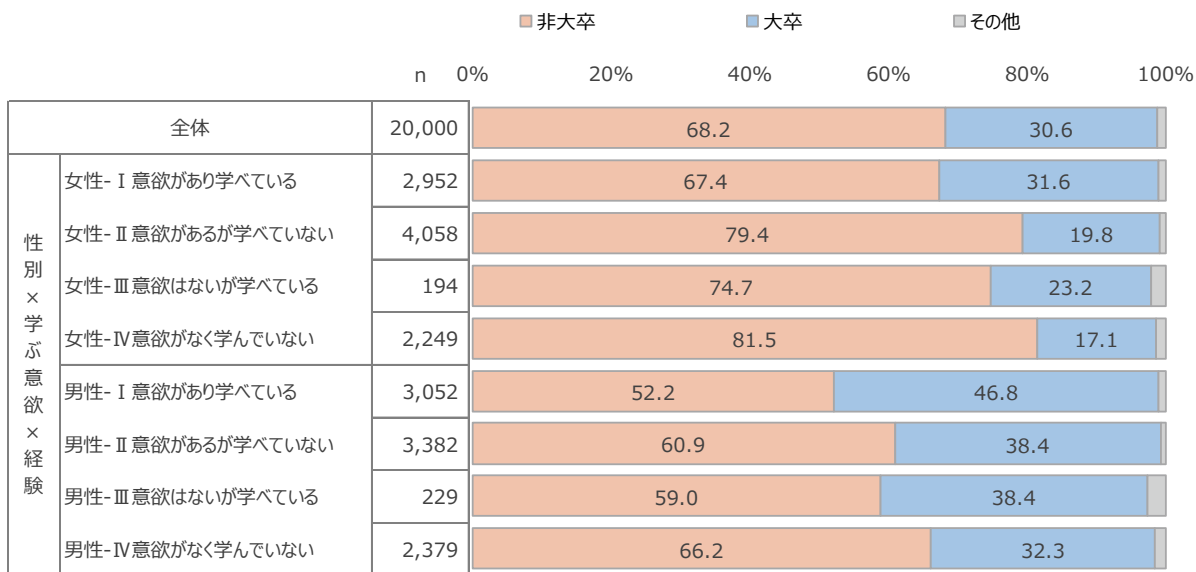
※学位が授与される大学校の場合は、取得した学位に該当する選択肢をお答えください（学士であれば「大学（学士）」）。

I 意欲があり学んでいる層と、II 意欲があるが学べていない層の比較

- ・女性- I 意欲があり学んでいる層：「非大卒」は67.4%。
- ・女性- II 意欲があるが学べていない層：「非大卒」は79.4%。
- ・女性の層別比較：IIはIに比べて、「非大卒」が12.0%ポイント高い。
- ・男性- I 意欲があり学んでいる層：「非大卒」は52.2%。
- ・男性- II 意欲があるが学べていない層：「非大卒」は60.9%。
- ・男性の層別比較：IIはIに比べて、「非大卒」が8.7%ポイント高い。

II 意欲があるが学べていない層の男女比較

- ・女性- IIは男性- IIに比べて、「非大卒」が18.5%ポイント高い。



※3%未満は、数値表示を省略しています。

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

(6) 生活時間 収入を伴う仕事の時間 (数字入力・Q8① 1)

【対象】全員

Q8.① あなたの普段の1日の時間配分について、「収入を伴う仕事の時間」のおおよその時間を教えてください。

※現在働いている人は、「仕事がある日の1日」をお答えください。

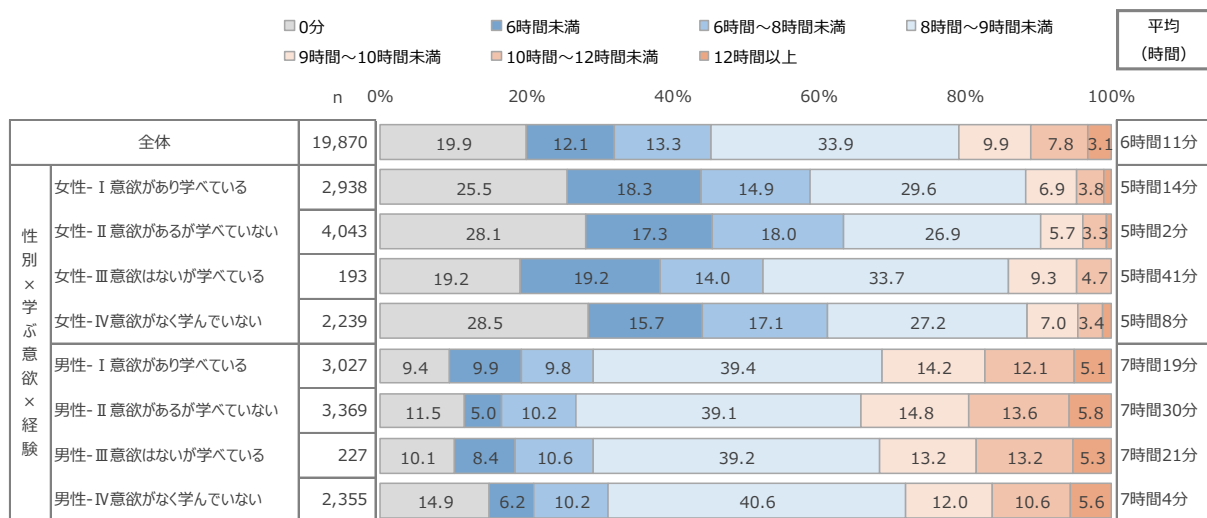
※産休・育休等取得中の方は、産休・育休等取得前の状況を思い出して「仕事がある日の1日」をお答えください。

I 意欲があり学べている層と、II 意欲があるが学べていない層の比較

- ・女性- I 意欲があり学べている層：平均は5時間14分。
- ・女性- II 意欲があるが学べていない層：平均は5時間2分。
- ・女性の層別比較：IIはIに比べて、平均12分短い。
- ・男性- I 意欲があり学べている層：平均は7時間19分。
- ・男性- II 意欲があるが学べていない層：平均は7時間30分。
- ・男性の層別比較：IIはIに比べて、平均11分長い。

II 意欲があるが学べていない層の男女比較

- ・女性- IIは男性- IIに比べて、平均2時間28分短い。



※3%未満は、数値表示を省略しています。

※Q8①及びQ8②の集計に当たっては、「睡眠、食事、身の回りの用事の時間」を「0分」と回答したサンプル（130人）を、回答の妥当性を踏まえ、集計対象から除外しています。

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

(7) 生活時間 通勤・通学時間 (数字入力・Q8① 2)

【対象】全員

Q8.① あなたの普段の1日の時間配分について、「通勤・通学時間」のおおよその時間を教えてください。

※現在働いている人は、「仕事がある日の1日」をお答えください。

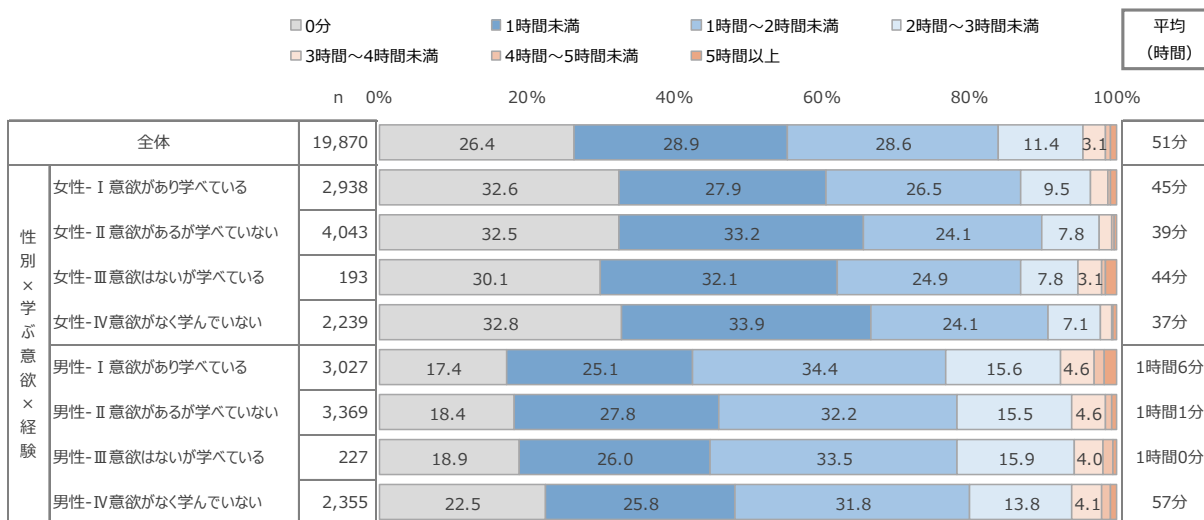
※産休・育休等取得中の方は、産休・育休等取得前の状況を思い出して「仕事がある日の1日」をお答えください。

I 意欲があり学んでいる層と、II 意欲があるが学べていない層の比較

- ・女性- I 意欲があり学んでいる層：平均は45分。
- ・女性- II 意欲があるが学べていない層：平均は39分。
- ・女性の層別比較：IIはIに比べて、平均6分短い。
- ・男性- I 意欲があり学んでいる層：平均は1時間6分。
- ・男性- II 意欲があるが学べていない層：平均は1時間1分。
- ・男性の層別比較：IIはIに比べて、平均5分短い。

II 意欲があるが学べていない層の男女比較

- ・女性- IIは男性- IIに比べて、平均22分短い。



※3%未満は、数値表示を省略しています。

※Q8①及びQ8②の集計に当たっては、「睡眠、食事、身の回りの用事の時間」を「0分」と回答したサンプル（130人）を、回答の妥当性を踏まえ、集計対象から除外しています。

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

(8) 生活時間 家事・育児・介護の時間 (数字入力・Q8① 3)

【対象】全員

Q8.① あなたの普段の1日の時間配分について、「家事・育児・介護の時間」のおおよその時間を教えてください。

※現在働いている人は、「仕事がある日の1日」をお答えください。

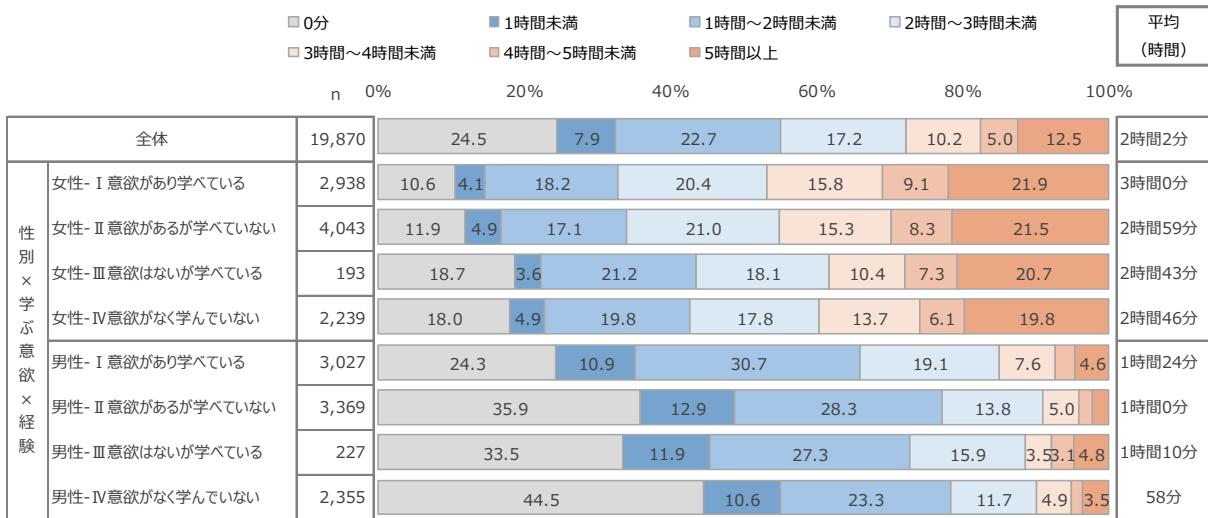
※産休・育休等取得中の方は、産休・育休等取得前の状況を思い出して「仕事がある日の1日」をお答えください。

I 意欲があり学んでいる層と、II 意欲があるが学べていない層の比較

- ・女性- I 意欲があり学んでいる層：平均は3時間0分。
- ・女性- II 意欲があるが学べていない層：平均は2時間59分。
- ・女性の層別比較：IIはIに比べて、平均1分短い。
- ・男性- I 意欲があり学んでいる層：平均は1時間24分。
- ・男性- II 意欲があるが学べていない層：平均は1時間0分。
- ・男性の層別比較：IIはIに比べて、平均24分長い。

II 意欲があるが学べていない層の男女比較

- ・女性- IIは男性- IIに比べて、平均1時間59分長い。



※3%未満は、数値表示を省略しています。

※Q8①及びQ8②の集計に当たっては、「睡眠、食事、身の回りの用事の時間」を「0分」と回答したサンプル（130人）を、回答の妥当性を踏まえ、集計対象から除外しています。

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

(9) 生活時間 睡眠、食事、身の回りの用事の時間（数字入力・Q8① 4）

【対象】全員

Q8.① あなたの普段の1日の時間配分について、「睡眠、食事、身の回りの用事の時間」のおおよその時間を教えてください。

※現在働いている人は、「仕事がある日の1日」をお答えください。

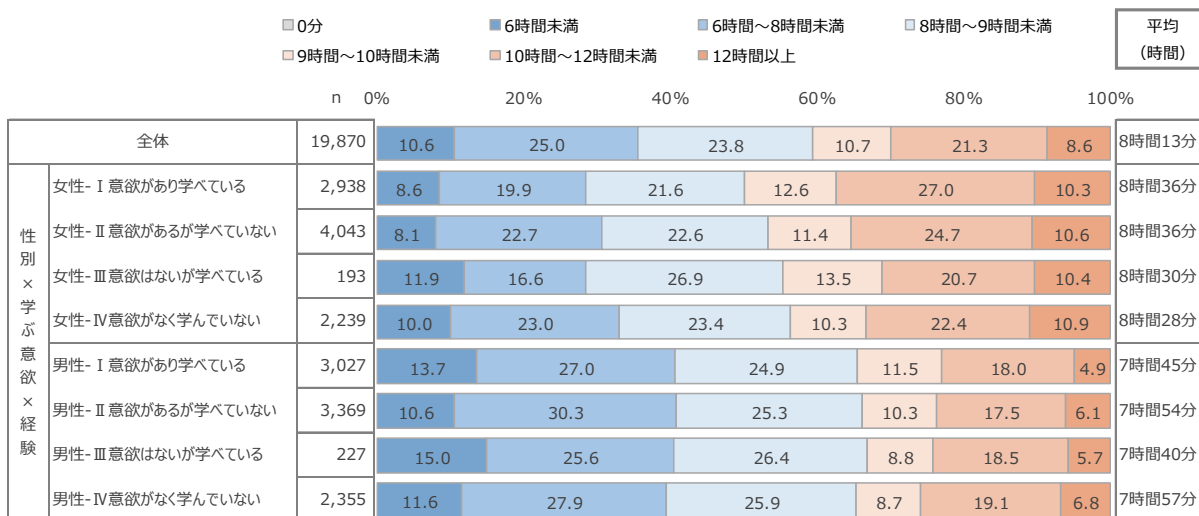
※産休・育休等取得中の方は、産休・育休等取得前の状況を思い出して「仕事がある日の1日」をお答えください。

I 意欲があり学んでいる層と、II 意欲があるが学べていない層の比較

- ・女性- I 意欲があり学んでいる層：平均は8時間36分。
- ・女性- II 意欲があるが学べていない層：平均は8時間36分。
- ・女性の層別比較：IIとIの平均時間は同程度。
- ・男性- I 意欲があり学んでいる層：平均は7時間45分。
- ・男性- II 意欲があるが学べていない層：平均は7時間54分。
- ・男性の層別比較：IIはIに比べて、平均9分長い。

II 意欲があるが学べていない層の男女比較

- ・女性- IIは男性- IIに比べて、平均42分長い。



※Q8①及びQ8②の集計に当たっては、「睡眠、食事、身の回りの用事の時間」を「0分」と回答したサンプル（130人）を、回答の妥当性を踏まえ、集計対象から除外しています。

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

(10) 生活時間 その他（自由時間など）（数字入力・Q8① 5）

【対象】全員

Q8.① あなたの普段の1日の時間配分について、「その他（自由時間など）」のおおよその時間を教えてください。

※現在働いている人は、「仕事がある日の1日」をお答えください。

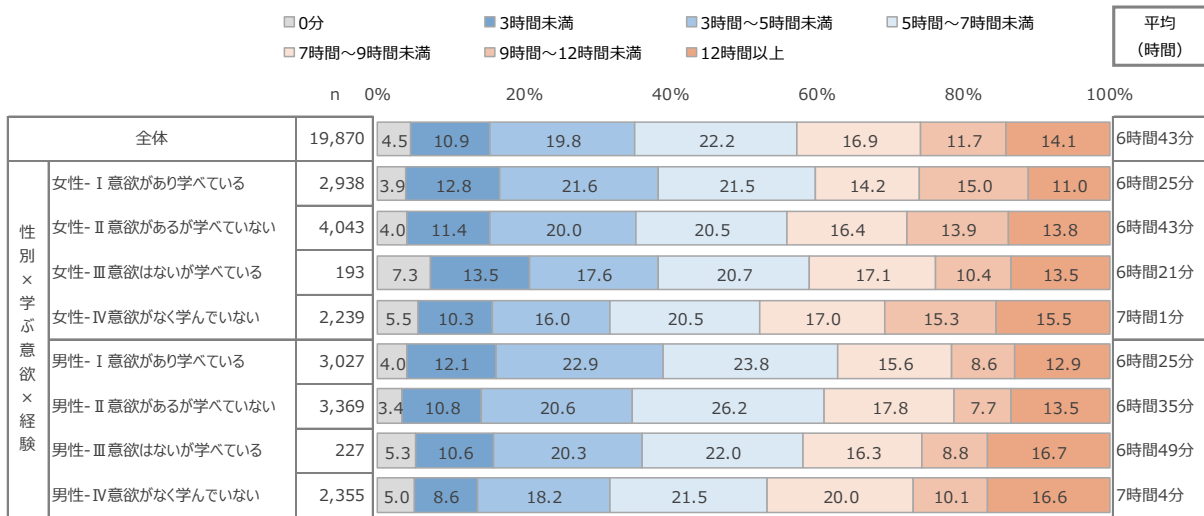
※産休・育休等取得中の方は、産休・育休等取得前の状況を思い出して「仕事がある日の1日」をお答えください。

I 意欲があり学んでいる層と、II 意欲があるが学べていない層の比較

- ・女性- I 意欲があり学んでいる層：平均は6時間25分。
- ・女性- II 意欲があるが学べていない層：平均は6時間43分。
- ・女性の層別比較：IIはIに比べて、平均18分長い。
- ・男性- I 意欲があり学んでいる層：平均は6時間25分。
- ・男性- II 意欲があるが学べていない層：平均は6時間35分。
- ・男性の層別比較：IIはIに比べて、平均10分長い。

II 意欲があるが学べていない層の男女比較

- ・女性- IIは男性- IIに比べて、平均8分長い。



※Q8①及びQ8②の集計に当たっては、「睡眠、食事、身の回りの用事の時間」を「0分」と回答したサンプル（130人）を、回答の妥当性を踏まえ、集計対象から除外しています。

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

(11) 趣味・自己啓発・勉強・自分のために使う時間（数字入力・Q8②）

【対象】全員

Q8.② また、1日のうち趣味・自己啓発・勉強・自分のために使うおおよその時間を教えてください。

※現在働いている人は、「仕事がある日の1日」をお答えください。

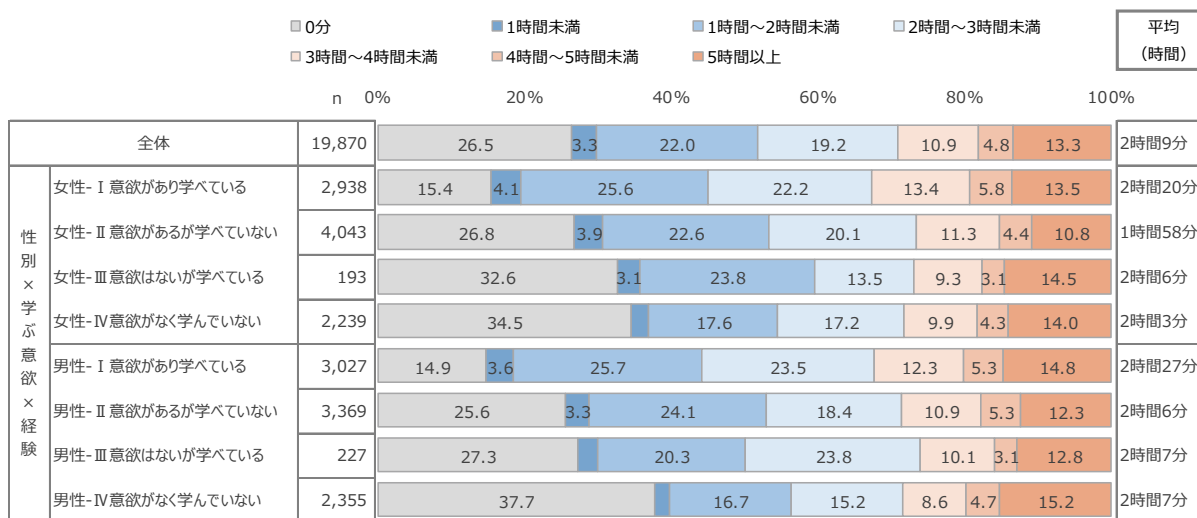
※産休・育休等取得中の方は、産休・育休等取得前の状況を思い出して「仕事がある日の1日」をお答えください。

I 意欲があり学んでいる層と、II 意欲があるが学べていない層の比較

- ・女性- I 意欲があり学んでいる層：平均は2時間20分。
- ・女性- II 意欲があるが学べていない層：平均は1時間58分。
- ・女性の層別比較：IIはIに比べて、平均22分短い。
- ・男性- I 意欲があり学んでいる層：平均は2時間27分。
- ・男性- II 意欲があるが学べていない層：平均は2時間6分。
- ・男性の層別比較：IIはIに比べて、平均21分短い。

II 意欲があるが学べていない層の男女比較

- ・女性- IIは男性- IIに比べて、平均8分短い。



※3%未満は、数値表示を省略しています。

※Q8①及びQ8②の集計に当たっては、「睡眠、食事、身の回りの用事の時間」を「0分」と回答したサンプル（130人）を、回答の妥当性を踏まえ、集計対象から除外しています。

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

(12) 家事関連時間の配偶者との分担割合（数字入力・Q9）

【対象】有配偶者

Q9.あなたは、日頃、配偶者と「家事・育児・介護」をどのくらい分担していますか。全体を100%（パーセント）としてお答えください。

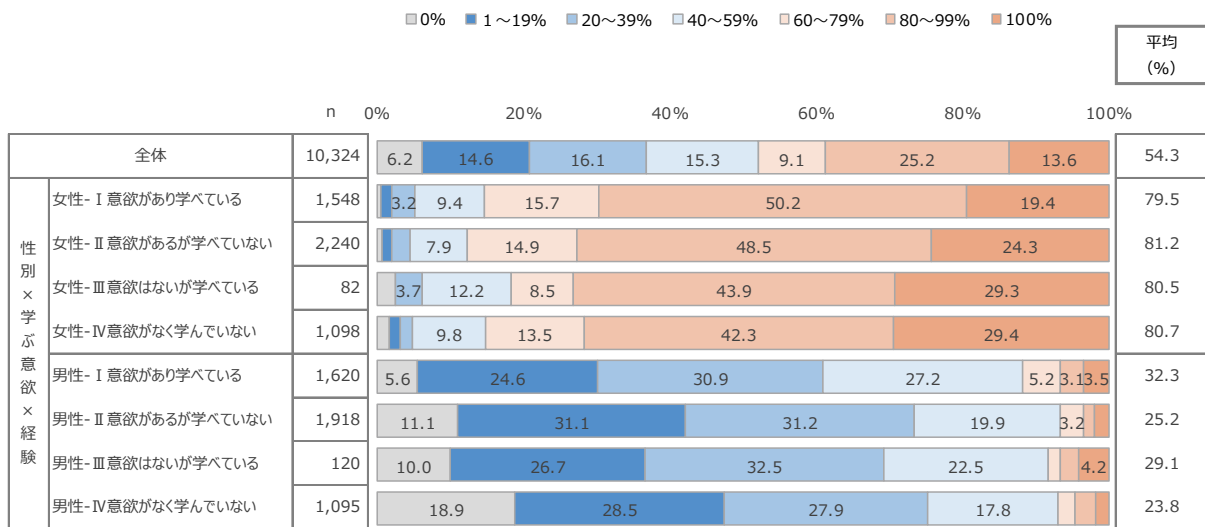
※配偶者には、婚姻届を出していない事実婚・内縁の関係も含まれます。

I 意欲があり学んでいる層と、II 意欲があるが学べていない層の比較

- ・女性- I 意欲があり学んでいる層：平均は79.5%。
- ・女性- II 意欲があるが学べていない層：平均は81.2%。
- ・女性の層別比較：IIはIに比べて、平均1.7%ポイント高い。
- ・男性- I 意欲があり学んでいる層：平均は32.3%。
- ・男性- II 意欲があるが学べていない層：平均は25.2%。
- ・男性の層別比較：IIはIに比べて、平均7.1%ポイント低い。

II 意欲があるが学べていない層の男女比較

- ・女性- IIは男性- IIに比べて、平均56.0%ポイント高い。



※3%未満は、数値表示を省略しています。

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

(13) 仕事以外で参加している取組や活動（複数回答・Q12）

【対象】全員

Q12.あなたは、仕事以外に、定期的に参加している取組や活動はありますか。

※1か月に1回程度以上、参加しているものをお答えください。

I 意欲があり学んでいる層と、II 意欲があるが学べていない層の比較

- 女性- I 意欲があり学んでいる層：「スポーツ・運動」25.5%、「教養や芸術文化など趣味・娯楽の活動」18.2%、「自治会、町内会、婦人会、老人会、青年団、子供会など地域での活動」10.7%が高い。
- 女性- II 意欲があるが学べていない層：「特にない」78.4%が高い。
- 女性の層別比較：IIはIに比べて、「特にない」が23.7%ポイント高く、「教養や芸術文化など趣味・娯楽の活動」が13.7%ポイント、「スポーツ・運動」は12.8%ポイント低い。
- 男性- I 意欲があり学んでいる層：「スポーツ・運動」42.3%、「教養や芸術文化など趣味・娯楽の活動」23.0%、「自治会、町内会、婦人会、老人会、青年団、子供会など地域での活動」17.0%が高い。
- 男性- II 意欲があるが学べていない層：「特にない」65.0%、「スポーツ・運動」24.9%が高い。
- 男性の層別比較：IIはIに比べて、「特にない」が26.8%ポイント高く、「教養や芸術文化など趣味・娯楽の活動」が17.8%ポイント、「スポーツ・運動」は17.4%ポイント低い。

II 意欲があるが学べていない層の男女比較

- 女性- IIは男性- IIに比べて「スポーツ・運動」が12.2%ポイント低く、「特にない」が13.4%ポイント高い。

	全 体 n= 20,000	女 性				男 性			
		I 意欲が あり 学べて いる n= 2,952	II 意欲が あるが 学べて いない n= 4,058	III 意欲は ないが 学べて いる n= 194	IV 意欲が なく 学んで いない n= 2,249	I 意欲が あり 学べて いる n= 3,052	II 意欲が あるが 学べて いない n= 3,382	III 意欲は ないが 学べて いる n= 229	IV 意欲が なく 学んで いない n= 2,379
スポーツ・運動	20.1	25.5	12.7	11.3	6.0	42.3	24.9	20.5	12.7
教養や芸術文化など趣味・娯楽の活動 (スポーツ・運動を除く)	8.7	18.2	4.5	7.2	2.1	23.0	5.2	7.0	1.9
自治会、町内会、婦人会、老人会、青年 団、子供会など地域での活動	7.1	10.7	4.1	6.2	1.9	17.0	7.3	10.5	3.1
上記以外のボランティア活動（プロボノ含 む）	2.6	5.3	1.3	4.6	0.8	6.5	1.8	3.5	0.5
その他	2.9	4.2	2.3	2.6	1.2	4.7	3.1	3.5	2.1
特にない	68.7	54.7	78.4	72.2	89.2	38.2	65.0	62.0	81.8

(%)

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

(14) 就業状態・雇用形態 (単数回答・Q13)

【対象】全員

Q13.現在のあなたの就業状態・雇用形態を教えてください。

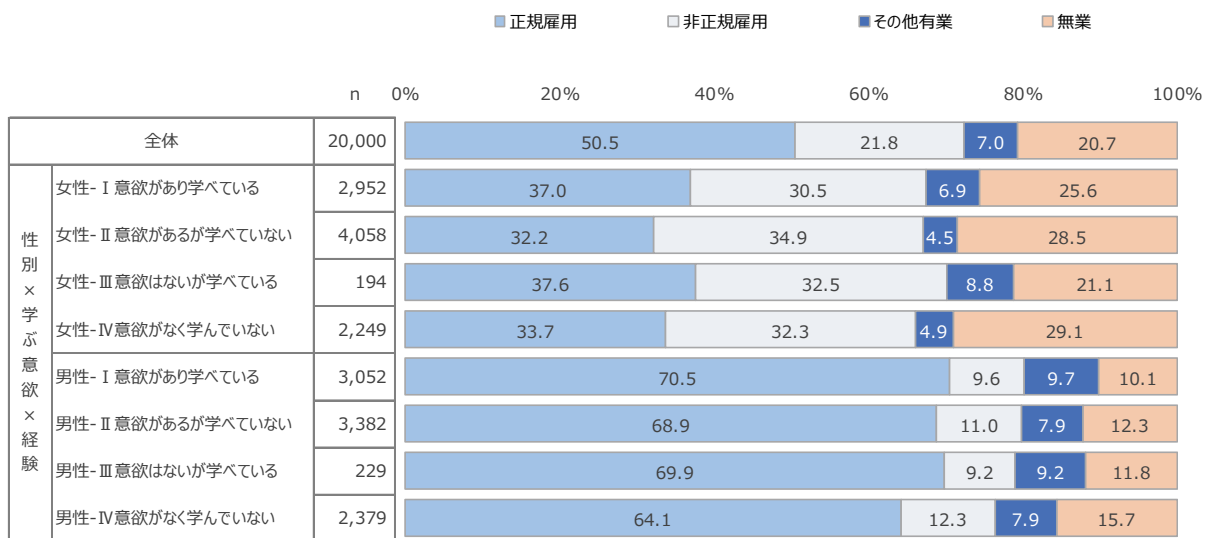
※仕事先が複数ある場合は、主に働いているところ（時間が長いところ）をお答えください。

I 意欲があり学んでいる層と、II 意欲があるが学べていない層の比較

- ・女性- I 意欲があり学んでいる層：「正規雇用」が37.0%、「非正規雇用」が30.5%。
- ・女性- II 意欲があるが学べていない層：「非正規雇用」が34.9%、「正規雇用」が32.2%。
- ・女性の層別比較：IIはIに比べて、「非正規雇用」が4.4%ポイント高く、「正規雇用」が4.8%ポイント低い。
- ・男性- I 意欲があり学んでいる層：「正規雇用」が70.5%、「無業」が10.1%。
- ・男性- II 意欲があるが学べていない層：「正規雇用」が68.9%、「無業」が12.3%。
- ・男性の層別比較：IIはIに比べて、「無業」が2.2%ポイント高く、「その他有業」が1.8%ポイント低い。

II 意欲があるが学べていない層の男女比較

- ・女性- IIは男性- IIに比べて、「正規雇用」が36.7%ポイント低い。



2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

(15) 勤務先の企業規模 (単数回答・Q14)

【対象】有業者

Q14.現在のあなたの勤務先の企業規模を教えてください。

※本社、支店、工場なども含めた従業員総数をお答えください（グループ会社や子会社は含みません）。なお、パートなどを含まず。

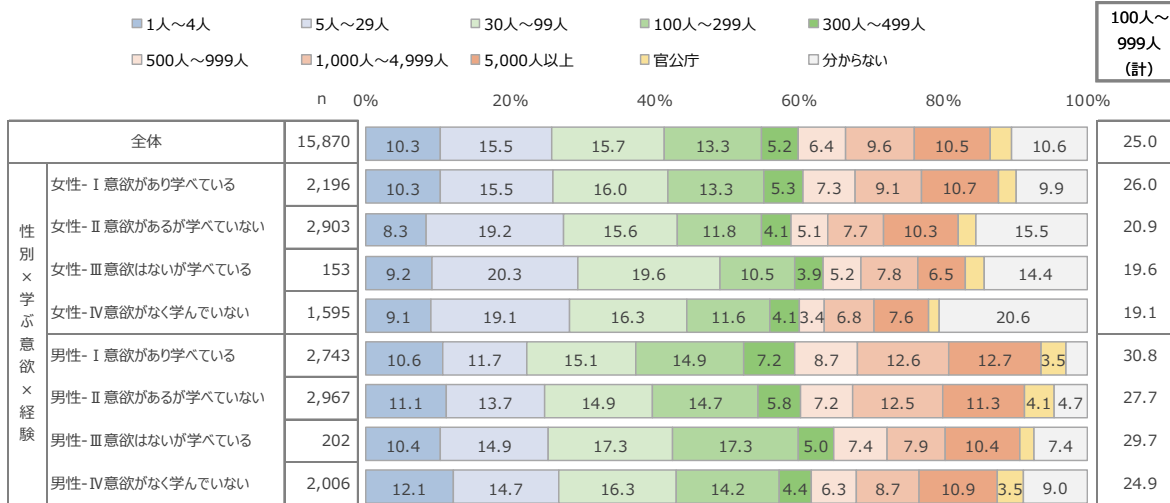
※官公庁にお勤めの方は、「官公庁」とお答えください。

I 意欲があり学べている層と、II 意欲があるが学べていない層の比較

- ・女性- I 意欲があり学べている層：「100人～999人（計）」が26.0%。
- ・女性- II 意欲があるが学べていない層：「100人～999人（計）」が20.9%。
- ・女性の層別比較：IIはIに比べて「100人～999人（計）」が5.1%ポイント低い。
- ・男性- I 意欲があり学べている層：「100人～999人（計）」が30.8%。
- ・男性- II 意欲があるが学べていない層：「100人～999人（計）」が27.7%。
- ・男性の層別比較：IIはIに比べて「100人～999人（計）」が3.1%ポイント低い。

II 意欲があるが学べていない層の男女比較

- ・女性- IIは男性- IIに比べて、「100人～999人（計）」が6.8%ポイント低い。



※3%未満は、数値表示を省略しています。

※「100人～999人（計）」＝「100人～299人」＋「300人～499人」＋「500人～999人」で算出

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

(16) 多様な働き方の利用状況（複数回答・Q17）

【対象】有業者

Q17.あなたが現在利用している働き方を教えてください。

I 意欲があり学んでいる層と、II 意欲があるが学べていない層の比較

- ・女性- I 意欲があり学んでいる層：「リモートワーク・テレワーク」が16.7%、「時短勤務」が13.3%。
- ・女性- II 意欲があるが学べていない層：「時短勤務」が11.8%、「リモートワーク・テレワーク」が8.5%。
- ・女性の層別比較：IIはIに比べて、「該当するものはない」が13.2%ポイント高く、「リモートワーク・テレワーク」が8.2%ポイント、「フレックスタイム制」が6.4%ポイント低い。
- ・男性- I 意欲があり学んでいる層：「リモートワーク・テレワーク」が24.0%、「フレックスタイム制」が21.8%。
- ・男性- II 意欲があるが学べていない層：「フレックスタイム制」が12.8%、「リモートワーク・テレワーク」が12.0%。
- ・男性の層別比較：IIはIに比べて、「該当するものはない」が21.4%ポイント高く、「リモートワーク・テレワーク」が12.0%ポイント、「フレックスタイム制」が9.0%ポイント低い。

II 意欲があるが学べていない層の男女比較

- ・女性- IIは男性- IIに比べて、「時短勤務」が9.3%ポイント高い。

	全 体 n= 15,870	女 性				男 性			
		I 意欲が あり 学べ て い る n= 2,196	II 意欲が あるが 学べ て い ない n= 2,903	III 意欲は ないが 学べ て い る n= 153	IV 意欲が なく 学んで い ない n= 1,595	I 意欲が あり 学べ て い る n= 2,743	II 意欲が あるが 学べ て い ない n= 2,967	III 意欲は ないが 学べ て い る n= 202	IV 意欲が なく 学んで い ない n= 2,006
									(%)
リモートワーク・テレワーク	13.0	16.7	8.5	9.2	7.3	24.0	12.0	14.9	9.7
フレックスタイム制	11.6	12.7	6.3	9.2	5.8	21.8	12.8	11.9	9.7
裁量労働制	8.6	9.0	5.5	3.9	4.9	14.7	9.0	11.9	8.6
時短勤務	7.1	13.3	11.8	11.8	8.3	7.0	2.5	3.5	1.7
多様な正社員（週休3日制、職務内容・勤務地・勤務時間等を限定した働き方）	5.7	6.8	5.0	5.2	3.8	9.1	5.0	4.5	5.2
副業・兼業	5.1	8.9	4.1	5.9	3.1	10.0	3.4	6.9	1.3
その他の多様な働き方	0.1	0.0	0.0	-	-	0.2	0.1	0.5	0.1
該当するものはない	60.8	50.6	63.8	60.1	70.2	43.0	64.4	59.9	69.9

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

広義の学びに対する意識

(17) 学び直しへの意欲 (単数回答・Q21)

【対象】全員

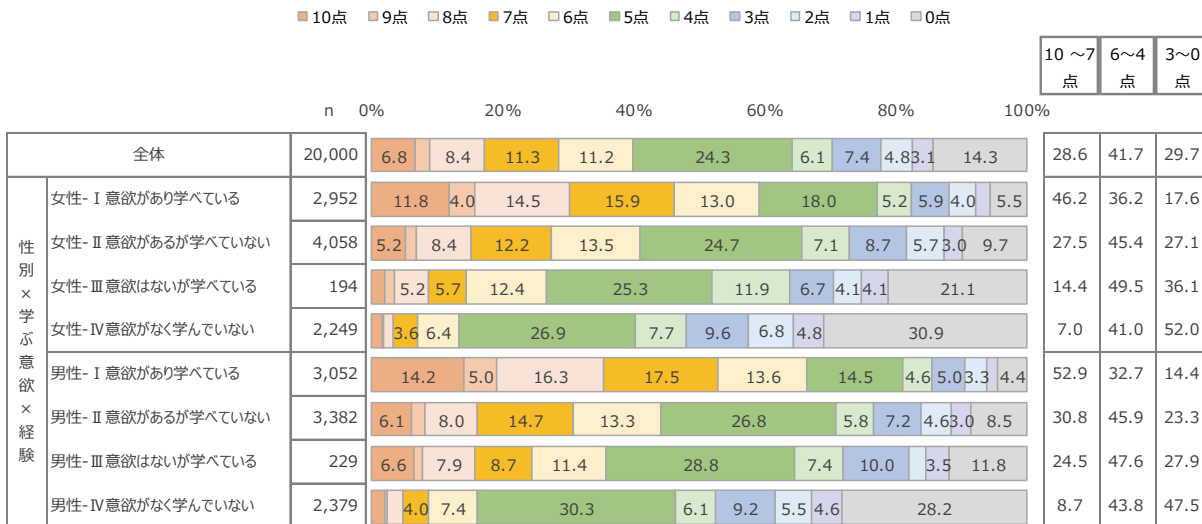
Q21.あなたは、人生をより良くするために「新しいことを身につけたい」・「いまの自分の能力やスキルを更に磨きたい」という気持ちを持っていますか。0点～10点でお答えください。

I 意欲があり学んでいる層と、II 意欲があるが学べていない層の比較

- ・女性- I 意欲があり学んでいる層：「10～7点（計）」が46.2%。
- ・女性- II 意欲があるが学べていない層：「10～7点（計）」が27.5%。
- ・女性の層別比較：IIはIに比べて、「10～7点（計）」が18.7%ポイント低い。
- ・男性- I 意欲があり学んでいる層：「10～7点（計）」が52.9%。
- ・男性- II 意欲があるが学べていない層：「10～7点（計）」が30.8%。
- ・男性の層別比較：IIはIに比べて、「10～7点（計）」が22.1%ポイント低い。

II 意欲があるが学べていない層の男女比較

- ・女性- IIは男性- IIに比べて、「10～7点（計）」が3.3%ポイント低い。



※3%未満は、数値表示を省略しています。

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

(18) 今後学ぶために必要なこと (複数回答・Q27)

【対象】全員

Q27. 今後、あなたが学ぶためには、どのようなことが必要ですか。

I 意欲があり学んでいる層と、II 意欲があるが学べていない層の比較

- ・女性- I 意欲があり学んでいる層：「学びに関する情報」が37.2%、「学んだことをいかせる場所」が29.1%。
- ・女性- II 意欲があるが学べていない層：「学びに関する情報」が30.1%、「学ぶための経済的な支援」が27.9%。
- ・女性の層別比較：IIはIに比べて、「学びに関する情報」が7.1%ポイント、「家族・周囲の理解」が6.1%ポイント低い。
- ・男性- I 意欲があり学んでいる層：「学びに関する情報」が36.3%、「学んだことをいかせる場所」が31.1%。
- ・男性- II 意欲があるが学べていない層：「学びに関する情報」が24.0%、「学ぶための経済的な支援」が22.4%。
- ・男性の層別比較：IIはIに比べて、「学びに関する情報」が12.3%ポイント、「学んだことをいかせる場所」が9.4%ポイント低い。

II 意欲があるが学べていない層の男女比較

- ・女性- IIは男性- IIに比べて、「学びに関する情報」が6.1%ポイント、「学ぶための経済的な支援」が5.5%ポイント高い。

	全 体 n= 20,000	女 性				男 性			
		I 意欲が あり 学べ て い る n= 2,952	II 意欲が あるが 学べ て い ない n= 4,058	III 意欲は ないが 学べ て い る n= 194	IV 意欲が なく 学んで い ない n= 2,249	I 意欲が あり 学べ て い る n= 3,052	II 意欲が あるが 学べ て い ない n= 3,382	III 意欲は ないが 学べ て い る n= 229	IV 意欲が なく 学んで い ない n= 2,379
学びに関する情報 (内容・時間・場所・費用など)	24.2	37.2	30.1	11.3	11.4	36.3	24.0	14.4	8.0
学んだことをいかせる場所	20.7	29.1	24.2	16.0	11.6	31.1	21.7	11.8	8.7
学ぶための経済的な支援	20.2	24.6	27.9	8.2	13.2	24.9	22.4	10.0	9.0
学びを行う場所・施設	17.9	24.9	23.8	9.8	8.3	24.8	19.4	10.9	6.3
就業時間の配慮や学びのための休暇制度	9.8	12.7	9.6	5.2	4.7	16.1	12.3	8.7	4.4
家族・周囲の理解	9.8	16.0	9.9	5.7	6.4	16.1	8.0	9.6	3.5
一緒に学ぶ仲間	8.7	12.2	8.8	8.2	4.2	15.6	9.4	7.4	3.1
家族間での家事・育児・介護等の分担	7.5	14.2	9.4	9.8	4.9	11.6	4.4	3.9	1.3
講座を修了することにより得られる証明書や国の認定	7.1	10.4	7.5	6.7	3.0	13.5	6.6	7.4	1.6
学びを支援する人 (キャリアコンサルタントなど)	5.7	8.7	4.7	2.1	1.5	13.4	5.3	3.1	1.4
その他	2.2	3.0	2.3	3.1	1.2	2.9	2.5	2.2	1.5
特になし	25.7	15.0	18.4	34.0	43.4	11.9	22.7	24.9	49.7
分からない	16.0	6.7	12.7	21.1	23.3	5.2	13.5	21.0	24.0

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

(19) 学ぶことへの意識 (マトリックス項目・単数回答・Q28)

【対象】全員

Q28. 下記の項目について、あなたのお考え・思いに近いものを教えてください。

I 意欲があり学んでいる層と、II 意欲があるが学べていない層の比較

- 女性- I 意欲があり学んでいる層：「何歳になっても、能力を伸ばし続けることができる」72.6%、「社会の変化に対応するために、学び続けることが必要だ」68.6%、「学ぶことになるべくお金をかけたくない」63.7%、「効率的に学びたい・学ぶ時間や労力を省力化したい」61.8%、「現場での経験や実践こそが最も重要な学びだ」61.3%が高い。
- 女性- II 意欲があるが学べていない層：「学ぶことになるべくお金をかけたくない」62.1%が最も高い。
- 女性の層別比較：IIはIに比べて、「何歳になっても、能力を伸ばし続けることができる」が20.7%ポイント、「社会の変化に対応するために、学び続けることが必要だ」が18.7%ポイント低い。
- 男性- I 意欲があり学んでいる層：「社会の変化に対応するために、学び続けることが必要だ」68.0%、「何歳になっても、能力を伸ばし続けることができる」64.9%、「現場での経験や実践こそが最も重要な学びだ」「効率的に学びたい・学ぶ時間や労力を省力化したい」ともに59.8%と高い。
- 男性- II 意欲があるが学べていない層：「学ぶことになるべくお金をかけたくない」51.1%が最も高い。
- 男性の層別比較：IIはIに比べて、「何歳になっても、能力を伸ばし続けることができる」が24.0%ポイント、「社会の変化に対応するために、学び続けることが必要だ」が23.7%ポイント低い。

II 意欲があるが学べていない層の男女比較

- 女性- IIは男性- IIに比べて、「学ぶことになるべくお金をかけたくない」と「何歳になっても、能力を伸ばし続けることができる」がともに11.0%ポイント高い。

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

(19) 学ぶことへの意識 (マトリクス項目・単数回答・Q28)

【対象】全員

Q28. 下記の項目について、あなたのお考え・思いに近いものを教えてください。

1～16項目それぞれ、「そう思う(計)」=「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」で算出

	全 体 n= 20,000	女 性				男 性			
		I 意欲が あり 学べて いる n= 2,952	II 意欲が あるが 学べて いない n= 4,058	III 意欲は ないが 学べて いる n= 194	IV 意欲が なく 学んで いない n= 2,249	I 意欲が あり 学べて いる n= 3,052	II 意欲が あるが 学べて いない n= 3,382	III 意欲は ないが 学べて いる n= 229	IV 意欲が なく 学んで いない n= 2,379
									(%)
学ぶことになるべくお金をかけたくない	50.0	63.7	62.1	38.7	43.9	55.2	51.1	28.8	32.4
何歳になっても、能力を伸ばし続けることができる	42.8	72.6	51.9	32.5	19.3	64.9	40.9	17.0	11.4
社会の変化に対応するために、学び続けることが必要だ	42.5	68.6	49.9	30.4	15.6	68.0	44.3	17.9	13.2
現場での経験や実践こそが最も重要な学びだ	41.9	61.3	49.0	33.5	23.9	59.8	45.2	20.1	18.4
効率的に学びたい・学ぶ時間や労力を省力化したい	40.3	61.8	50.2	34.5	16.5	59.8	44.1	17.0	12.0
今のままで十分に仕事ができている・生活を送ることができている	34.6	50.3	40.0	25.8	23.2	47.9	36.1	20.1	16.1
学ぶためには、しっかりとした教育カリキュラムが必要だ	34.3	47.3	42.2	22.7	19.0	48.5	38.8	19.2	13.7
気の合う仲間と学びたい	33.6	49.4	42.6	21.1	16.9	48.5	35.7	16.2	10.7
自分が学ぶことよりも、他に優先すべきことがある	33.1	43.1	42.1	29.4	26.2	39.9	35.7	15.7	16.4
中学生時代の学校の成績は優秀だった	28.9	45.8	31.0	22.7	15.9	45.4	28.5	16.2	11.5
学生時代に勉強を頑張った	27.7	46.8	32.0	23.2	14.7	42.2	26.0	14.0	8.6
学んだことを地域・社会のためにいかしたい	27.3	42.9	31.4	16.0	6.7	47.2	30.5	12.7	6.4
学んだことをいかす機会や場所がある	25.3	42.5	25.4	19.6	8.8	46.3	25.6	15.3	6.6
学ぶ必要のあることは、会社や他の人に示してほしい	24.6	37.0	28.2	22.2	10.4	39.9	26.5	15.3	7.9
目標にする人に近づきたい思いで自己研鑽している	20.2	34.8	19.0	17.0	5.0	39.3	20.9	10.5	4.1
学びとは、社会人ではなく、学生に必要なことだ	18.3	24.9	18.9	16.5	8.6	31.0	20.5	12.2	7.8

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

(20) 仕事や職業キャリアに関する学びの障壁（複数回答・Q44）

【対象】有業者又は就業意欲のある無業者

Q44.あなたが、仕事や職業キャリアに関して学ぼうとする上で、どのような課題や困りごとがありますか。

I 意欲があり学べている層と、II 意欲があるが学べていない層の比較

- 女性- I 意欲があり学べている層：「金銭的余裕がない」が32.4%と最も高い。
- 女性- II 意欲があるが学べていない層：「金銭的余裕がない」が38.3%、「何を学んでいいかわからない」が24.6%。
- 女性の層別比較：IIはIに比べて、「何を学んでいいかわからない」が7.7%ポイント、「金銭的余裕がない」が5.9%ポイント高い。
- 男性- I 意欲があり学べている層：「仕事が忙しくて時間がない」が27.7%、「金銭的余裕がない」が26.5%。
- 男性- II 意欲があるが学べていない層：「金銭的余裕がない」が31.4%、「仕事が忙しくて時間がない」が23.7%。
- 男性の層別比較：IIはIに比べて、「金銭的余裕がない」が4.9%ポイント高く、「家事・育児・介護等が忙しくて時間がない」が6.2%ポイント、「学びに必要な情報が入手できない」が6.1%ポイント低い。

II 意欲があるが学べていない層の男女比較

- 女性- IIは男性- IIに比べて、「家事・育児・介護等が忙しくて時間がない」が10.2%ポイント高い。

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

仕事や職業キャリアに関する学びに対する意識

(20) 仕事や職業キャリアに関する学びの障壁（複数回答・Q44）

【対象】有業者又は就業意欲のある無業者

Q44.あなたが、仕事や職業キャリアに関して学ぼうとする上で、どのような課題や困りごとがありますか。

	全 体 n= 17,347	女 性				男 性			
		I 意欲が あり 学べて いる n= 2,525	II 意欲が あるが 学べて いない n= 3,375	III 意欲は ないが 学べて いる n= 164	IV 意欲が なく 学んで いない n= 1,772	I 意欲が あり 学べて いる n= 2,871	II 意欲が あるが 学べて いない n= 3,129	III 意欲は ないが 学べて いる n= 209	IV 意欲が なく 学んで いない n= 2,097
									(%)
金銭的余裕がない	28.9	32.4	38.3	18.3	26.5	31.4	12.9	19.8	
仕事が多忙で時間がない	18.9	21.4	18.5	9.8	12.1	27.7	14.8	11.1	
学んでも収入アップにつながらない	18.7	24.2	20.6	17.1	13.5	23.8	17.2	12.4	
何を学んでいいかわからない	16.4	16.9	24.6	8.5	14.4	14.5	7.7	9.2	
学ぶことより優先したいことがある	12.7	16.9	14.9	12.2	10.7	15.2	11.0	7.9	
学びに必要な情報（内容・時間・場所・費用など）が入手できない	12.2	16.8	16.4	7.3	6.5	17.2	8.1	5.1	
学んでもキャリアアップにつながらない	11.0	14.2	11.2	6.1	6.9	15.8	12.4	7.5	
家事・育児・介護等が多忙で時間がない	10.8	18.8	16.7	12.2	7.6	12.7	3.3	3.1	
周囲に学べる環境がない	10.1	11.0	14.2	7.3	5.1	12.7	7.7	4.3	
学んでも会社から評価されない	9.5	11.6	8.3	7.3	6.1	14.3	9.6	6.5	
学ぶことに対して家族の理解が得られない	3.7	5.1	3.0	6.1	1.6	8.2	4.3	1.0	
その他	1.7	2.8	1.7	1.8	1.1	2.1	1.4	1.3	
業務に必要なことは身につけているため、特に学ぶ必要がない	1.8	1.2	1.7	1.8	2.5	1.5	1.0	2.6	
特にない	18.4	12.1	12.1	20.1	25.0	13.3	18.7	32.8	
分からない	11.0	4.3	7.7	13.4	18.6	2.8	16.3	18.8	

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

(21) 就業先で行われている学びに関する取組や支援（複数回答・Q45）

【対象】有業者

Q45.あなたの現在の就業先では、次のような取組や支援がありますか。

I 意欲があり学んでいる層と、II 意欲があるが学べていない層の比較

- 女性- I 意欲があり学んでいる層：「社内研修、勉強会」が21.4%、「身につけるべき知識や能力の明示」が13.7%。
- 女性- II 意欲があるが学べていない層：「社内研修、勉強会」が13.9%、「身につけるべき知識や能力の明示」が10.1%。
- 女性の層別比較：IIはIに比べて、「社内研修、勉強会」が7.5%ポイント低く、「該当するものはない」が18.1%ポイント高い。
- 男性- I 意欲があり学んでいる層：「社内研修、勉強会」が28.5%、「身につけるべき知識や能力の明示」が21.8%
- 男性- II 意欲があるが学べていない層：「社内研修、勉強会」が18.7%、「身につけるべき知識や能力の明示」が14.7%。
- 男性の層別比較：IIはIに比べて、「職員の自己学習や自己研鑽に対する費用負担」が11.8%ポイント低く、「該当するものはない」が22.4%ポイント高い。

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

(21) 就業先で行われている学びに関する取組や支援（複数回答・Q45）

【対象】有業者

Q45.あなたの現在の就業先では、次のような取組や支援がありますか。

	全 体 n= 15,870	女 性				男 性			
		I 意欲が あり 学べて いる n= 2,196	II 意欲が あるが 学べて いない n= 2,903	III 意欲は ないが 学べて いる n= 153	IV 意欲が なく 学んで いない n= 1,595	I 意欲が あり 学べて いる n= 2,743	II 意欲が あるが 学べて いない n= 2,967	III 意欲は ないが 学べて いる n= 202	IV 意欲が なく 学んで いない n= 2,006
									(%)
社内研修、勉強会	16.3	21.4	13.9	13.1	6.4	28.5	18.7	15.8	8.3
身につけるべき知識や能力の明示	12.0	13.7	10.1	10.5	3.9	21.8	14.7	11.9	7.0
外部研修等の受講支援	9.1	11.5	5.9	9.8	3.3	19.8	9.4	13.9	4.1
職員の自己学習や自己研鑽に対する費用負担	8.9	12.2	6.2	6.5	2.3	20.3	8.5	11.4	3.7
階層別・年次別の教育・研修計画	8.2	9.0	5.9	5.9	1.6	17.4	10.0	9.9	4.0
資格・経験・能力を考慮した給与体系	6.6	8.6	6.3	6.5	2.6	10.5	8.1	3.0	3.4
個人のキャリアプランに関する面談・相談	6.0	8.2	4.4	3.9	2.4	12.9	5.9	3.5	2.5
人事考課等における、自己評価や他者評価のフィードバック	5.9	7.6	4.4	4.6	2.1	11.6	6.4	5.4	2.8
研修の受講や大学院進学等のための休職・休暇制度	4.9	6.6	3.0	4.6	1.0	11.4	4.9	9.9	1.7
メンター、コーチング制度	4.2	4.9	3.0	5.2	1.3	9.4	4.1	3.0	2.2
学び続ける職員を支援する職場風土	3.3	4.5	2.9	2.0	1.8	6.1	3.4	4.0	1.5
自己研鑽（資格取得や社会人大学院）を考慮した業務の割り振り、配置転換	3.1	4.6	2.0	2.0	0.9	7.0	2.9	2.0	1.0
該当するものはない	58.9	47.0	65.1	54.9	82.1	30.4	52.8	49.5	77.2

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

(22) 仕事や職業キャリアに関する学びの充実のために必要なこと（複数回答・Q46）

【対象】有業者又は就業意欲のある無業者

Q46. あなたは、仕事や職業キャリアのための学び（職場で提供される研修等の機会を除く）を充実させるために、どのようなことが必要だと思いますか。

I 意欲があり学んでいる層と、II 意欲があるが学べていない層の比較

- 女性- I 意欲があり学んでいる層：「経済的な支援があること」が33.3%、「学んだことが収入アップやキャリアアップにつながること」が32.2%。
- 女性- II 意欲があるが学べていない層：「経済的な支援があること」が33.8%、「学んだことが収入アップやキャリアアップにつながること」が26.4%。
- 女性の層別比較：IIはIに比べて、「学んだことが収入アップやキャリアアップにつながること」が5.8%ポイント、「学びが職業キャリアの充実にいかせるという展望を持てること」が5.6%ポイント低い。
- 男性- I 意欲があり学んでいる層：「経済的な支援があること」が31.6%、「学んだことが収入アップやキャリアアップにつながること」が29.5%。
- 男性- II 意欲があるが学べていない層：「経済的な支援があること」が27.7%、「学んだことが収入アップやキャリアアップにつながること」が20.8%。
- 男性の層別比較：IIはIに比べて、「学んだことが収入アップやキャリアアップにつながること」が8.7%ポイント、「学びに関する情報が入手できること」が7.9%ポイント低い。

II 意欲があるが学べていない層の男女比較

- 女性- IIは男性- IIに比べて、「参加しやすい時間帯に学びの機会があること」が7.8%ポイント高い。

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

(22) 仕事や職業キャリアに関する学びの充実のために必要なこと（複数回答・Q46）

【対象】有業者又は就業意欲のある無業者

Q46.あなたは、仕事や職業キャリアのための学び（職場で提供される研修等の機会を除く）を充実させるために、どのようなことが必要だと思いますか。

	全 体 n= 17,347	女 性				男 性			
		I 意欲が あり 学べて いる n= 2,525	II 意欲が あるが 学べて いない n= 3,375	III 意欲は ないが 学べて いる n= 164	IV 意欲が なく 学んで いない n= 1,772	I 意欲が あり 学べて いる n= 2,871	II 意欲が あるが 学べて いない n= 3,129	III 意欲は ないが 学べて いる n= 209	IV 意欲が なく 学んで いない n= 2,097
		(%)							
経済的な支援があること	26.0	33.3	33.8	14.6	17.6	31.6	27.7	12.9	13.2
学んだことが収入アップやキャリアアップにつながる	21.5	32.2	26.4	13.4	11.3	29.5	20.8	14.8	9.6
参加しやすい時間帯に学びの機会があること	18.0	28.2	25.0	9.8	8.6	23.4	17.2	11.5	5.5
学びに関する情報（内容・時間・場所・費用など）が入手できること	17.3	26.6	22.0	7.3	6.5	25.2	17.3	9.1	5.9
学びの場所・施設が近くにあること	16.6	25.8	23.0	14.0	8.1	20.2	16.8	5.7	5.6
学びが職業キャリアの充実にいかせるといふ展望を持てること	11.6	18.0	12.4	5.5	4.5	18.9	12.2	5.7	4.5
具体的に何を学べばよいかをアドバイスしてもらえること	11.6	16.6	13.8	4.9	5.5	17.3	11.8	8.1	4.9
就業時間の配慮や学びのための休暇制度があること	11.3	15.9	12.4	5.5	5.6	17.6	12.0	10.0	4.7
具体的な学び方をアドバイスしてもらえること	10.9	16.6	13.2	8.5	4.5	16.6	10.9	5.3	3.9
職業キャリアに対するモチベーションが高まること	10.4	14.8	10.4	10.4	2.7	18.2	11.8	7.7	3.7
一緒に学ぶ仲間がいること	9.1	11.7	10.5	7.3	4.2	14.6	10.5	4.3	3.3
家族・周囲の理解を得られること	8.5	12.9	10.5	9.1	4.0	12.8	7.7	10.0	2.7
家族間で家事・育児・介護等の分担ができること	7.4	12.3	9.2	7.9	4.2	11.4	5.7	6.2	2.3
その他	1.0	1.1	0.8	1.8	0.5	1.9	0.7	1.0	0.8
特にない	20.4	9.1	15.0	22.0	33.2	10.2	20.1	18.7	39.5
分からない	16.8	7.4	13.2	23.8	29.6	4.8	12.6	19.1	26.7

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

役割や居場所に対する意識

(23) 現在の自分の役割や居場所に対する意識（単数回答・Q49）

【対象】全員

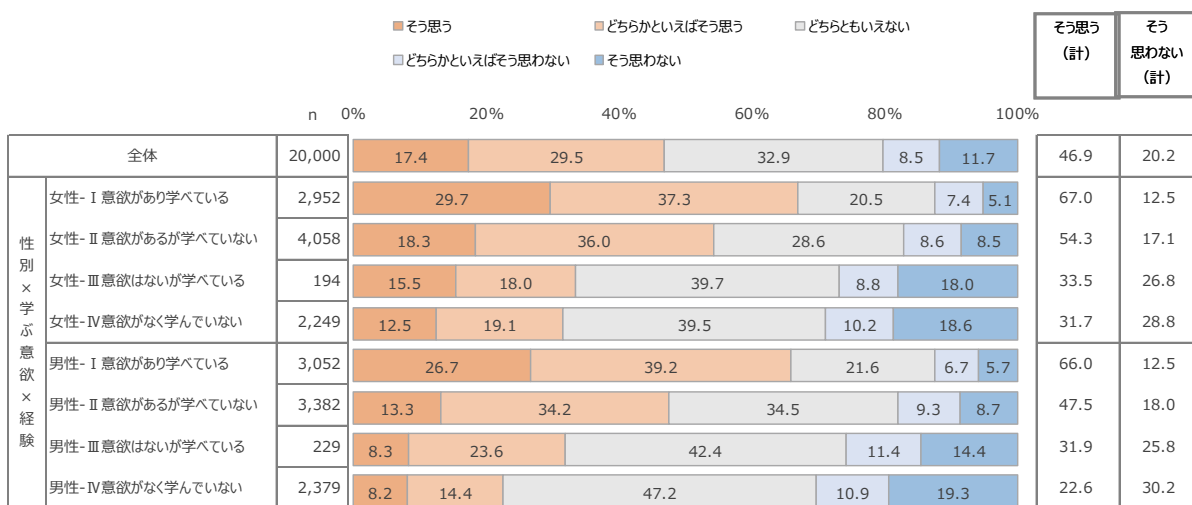
Q49.現在、あなたは普段の暮らしの中で、自分の役割や居場所があると感じていますか。あなたの気持ちを教えてください。

I 意欲があり学んでいる層と、II 意欲があるが学べていない層の比較

- ・女性- I 意欲があり学んでいる層：「そう思う（計）」は67.0%。
- ・女性- II 意欲があるが学べていない層：「そう思う（計）」は54.3%。
- ・女性の層別比較：IIはIに比べて、「そう思う（計）」が12.7%ポイント低い。
- ・男性- I 意欲があり学んでいる層：「そう思う（計）」は66.0%。
- ・男性- II 意欲があるが学べていない層：「そう思う（計）」は47.5%。
- ・男性の層別比較：IIはIに比べて、「そう思う（計）」が18.5%ポイント低い。

II 意欲があるが学べていない層の男女比較

- ・女性- IIは男性- IIに比べて、「そう思う（計）」が6.8%ポイント高い。



※「そう思う（計）」＝「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」、「そう思わない（計）」＝「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」で算出

2. 学びへの意欲と学びの経験によるセグメント別の属性の特徴

(24) 将来の自分の役割や居場所に対する意識 (単数回答・Q50)

【対象】全員

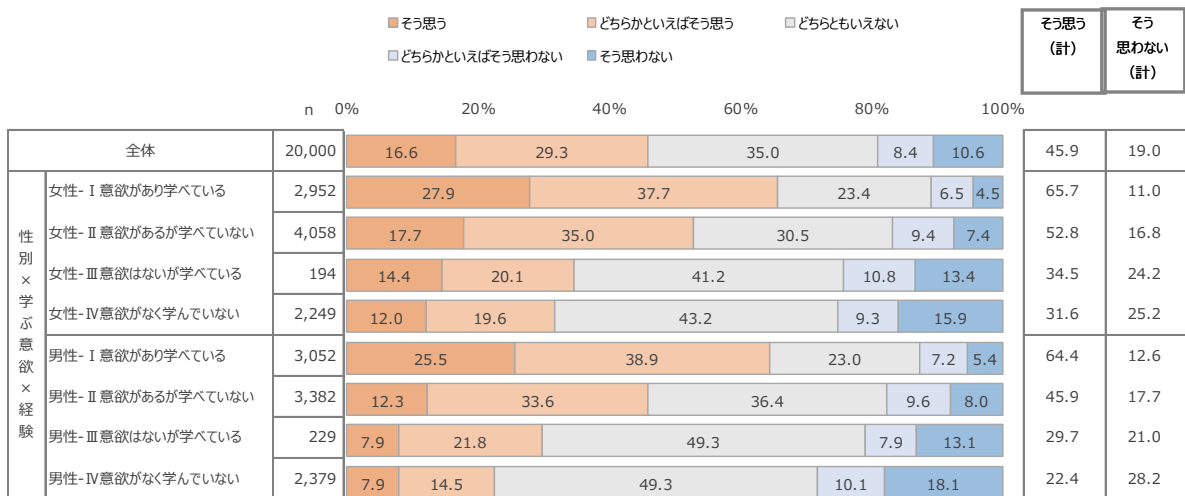
Q50. 5年後、あなたは普段の暮らしの中で、自分の役割や居場所を持っていると思いますか。あなたの気持ちを教えてください。

I 意欲があり学んでいる層と、II 意欲があるが学べていない層の比較

- ・女性- I 意欲があり学んでいる層：「そう思う (計)」は65.7%。
- ・女性- II 意欲があるが学べていない層：「そう思う (計)」は52.8%。
- ・女性の層別比較：IIはIに比べて、「そう思う (計)」が12.9%ポイント低い。
- ・男性- I 意欲があり学んでいる層：「そう思う (計)」は64.4%。
- ・男性- II 意欲があるが学べていない層：「そう思う (計)」は45.9%。
- ・男性の層別比較：IIはIに比べて、「そう思う (計)」が18.5%ポイント低い。

II 意欲があるが学べていない層の男女比較

- ・女性- IIは男性- IIに比べて、「そう思う (計)」が6.9%ポイント高い。



※「そう思う (計)」=「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」、「そう思わない (計)」=「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」で算出